

1. 事業の概要

近年、わが国における光化学オキシダント濃度レベルの上昇傾向や注意報の発令地域の広域化、微小粒子状物質（PM2.5）のバックグラウンド濃度の高濃度傾向等について、中国等アジア大陸の大気汚染物質の排出量増大に伴う我が国への越境移流が指摘されている。

中国においては、日中環境汚染対策に関する局長級政策対話等により環境汚染対策に関する協力を進めてきているが、平成21年3月、同局長級対話においてNOxの総量規制に関する共同研究を合意したところ。

このような状況を踏まえ、日本のNOx総量規制や低NOx燃焼技術・脱硝技術といった日本が有する制度・技術・ノウハウの活用により、中国におけるNOxの排出量削減協力のためのセミナーの開催や、中国における大気汚染対策の強化に向けた調査・研究を実施する。

また、日本の公害経験の実態や未然防止、被害救済などの情報を中国等に提供、意見交換を行うことにより、当該国における大気環境対策に資するものである。

2. 事業計画

調 査 項 目	H 2 2	H 2 3	H 2 4
セミナーの開催		→	
調査・研究の実施			→
大気汚染経験情報発信			→

3. 施策の効果

NOxは光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM2.5）の原因物質であり、中国における大気汚染対策に資するとともに、我が国における光化学オキシダント対策、粒子状物質の削減対策に資する。

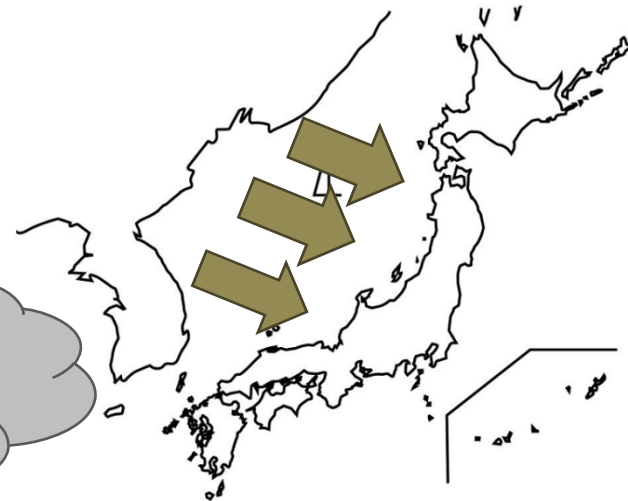
中国における大気汚染対策協力事業

現状

光化学オキシダント(主にNO_xやVOC等が原因の大気汚染物質。同時に、温室効果ガス。)

- 濃度レベルの上昇
- 注意報発令地域の広域化
- 極めて低い環境基準達成率

中国等アジア大陸からの**越境汚染**が懸念



中国

第12次五カ年計画
(2010年度～)におけるNO_x総量削減

日中NO_x総量削減協力

光化学オキシダントや粒子状物質(SPM, PM_{2.5})の原因物質であるNO_xの中国における排出量削減協力

- セミナー開催
- 共同研究(モデル事業の実施等)
- 大気汚染経験情報発信

日本

日本が有する制度・技術・ノウハウを活用

- 日本のNO_x総量規制
- 低NO_x燃焼技術や脱硝技術
- 公害経験の普及啓発

日本国内及び中国の大気汚染状況の改善